

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月29日

上場会社名 メタウォーター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸 TEL 03-6853-7317
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,052	15.3	2,957		3,077		2,202	
2019年3月期第2四半期	29,534	20.5	3,651		3,355		2,368	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,150百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 2,760百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	84.95	
2019年3月期第2四半期	91.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	114,111	56,075	49.0
2019年3月期	132,620	59,031	44.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 55,932百万円 2019年3月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		31.00		31.00	62.00
2020年3月期		31.00			
2020年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	6.5	8,200	7.8	8,200	7.5	5,600	8.3	216.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	25,923,500 株	2019年3月期	25,923,500 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	186 株	2019年3月期	150 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	25,923,338 株	2019年3月期2Q	25,923,398 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きました。また、世界の経済状況は、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性等のリスクがあるものの、全体としては緩やかな回復が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、2020年度（2021年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2020」の達成に向けて「①戦略開発投資」「②事業戦略（基盤分野の強化と成長分野の拡大）」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は340億52百万円（前年同期比15.3%増）、営業損失は29億57百万円（前年同期は営業損失36億51百万円）、経常損失は30億77百万円（前年同期は経常損失33億55百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は22億2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失23億68百万円）となりました。また、受注高は664億61百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第2四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業においては、EPC事業及び海外事業共に順調に推移し、売上高は214億4百万円（前年同期比7.8%増）、営業損失は13億2百万円（前年同期は営業損失17億53百万円）となりました。また、受注高は330億4百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業においては、O&M事業及びPPP事業共に順調に推移し、売上高は126億48百万円（前年同期比30.8%増）、営業損失は16億55百万円（前年同期は営業損失18億97百万円）となりました。また、受注高は334億57百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

- (注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設
2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理
3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ185億円減少し、1,141億11百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ189億7百万円減少し、966億30百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ3億98百万円増加し、174億80百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ148億76百万円減少し、414億50百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億77百万円減少し、165億85百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ29億55百万円減少し、560億75百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は405億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ、127億42百万円増加しました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純損失30億77百万円、法人税等の支払による支出21億82百万円、仕入債務の減少による支出157億42百万円のうち、売上債権の減少による収入412億8百万円などにより、営業活動に伴う資金の増加は154億38百万円（前年同期比29億12百万円増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出6億52百万円、無形固定資産の取得による支出1億16百万円などにより、投資活動に伴う資金の減少は12億38百万円（前年同期比7億59百万円増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払による支出8億3百万円、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出4億20百万円などにより、財務活動に伴う資金の減少は14億17百万円（前年同期比1億5百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び事業環境を勘案した結果、2019年4月25日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2020年3月期の通期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 125,000	百万円 8,000	百万円 8,000	百万円 5,500	円 銭 212.16
今回修正予想 (B)	125,000	8,200	8,200	5,600	216.02
増減額 (B-A)	0	200	200	100	
増減率 (%)	0.0%	2.5%	2.5%	1.8%	
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	117,342	7,607	7,624	5,170	199.46

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,589	41,308
受取手形及び売掛金	76,282	35,008
仕掛品	4,670	12,413
貯蔵品	3,932	4,444
その他	2,062	3,455
流動資産合計	115,538	96,630
固定資産		
有形固定資産	3,188	3,505
無形固定資産		
のれん	1,670	1,627
顧客関連資産	2,539	2,562
その他	1,861	1,790
無形固定資産合計	6,072	5,980
投資その他の資産	7,822	7,994
固定資産合計	17,082	17,480
資産合計	132,620	114,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,278	7,757
電子記録債務	8,380	5,119
短期借入金	337	273
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	844	850
未払法人税等	2,419	193
前受金	16,075	19,681
完成工事補償引当金	1,361	1,358
受注工事損失引当金	517	596
その他	8,111	5,618
流動負債合計	56,326	41,450
固定負債		
長期借入金	1,847	1,660
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	10,705	10,278
退職給付に係る負債	4,603	4,531
その他	107	115
固定負債合計	17,262	16,585
負債合計	73,589	58,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	33,830	30,824
自己株式	△0	△0
株主資本合計	60,856	57,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	58
為替換算調整勘定	△371	△522
退職給付に係る調整累計額	△1,645	△1,454
その他の包括利益累計額合計	△1,967	△1,918
非支配株主持分	142	143
純資産合計	59,031	56,075
負債純資産合計	132,620	114,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	29,534	34,052
売上原価	25,287	28,402
売上総利益	4,246	5,649
販売費及び一般管理費	7,897	8,607
営業損失(△)	△3,651	△2,957
営業外収益		
受取利息	104	88
受取配当金	53	44
為替差益	249	—
その他	0	11
営業外収益合計	408	144
営業外費用		
支払利息	108	99
固定資産処分損	4	6
為替差損	—	150
その他	0	7
営業外費用合計	112	264
経常損失(△)	△3,355	△3,077
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,355	△3,077
法人税等	△1,010	△877
四半期純損失(△)	△2,344	△2,199
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,368	△2,202

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,344	△2,199
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	8
為替換算調整勘定	△653	△150
退職給付に係る調整額	227	190
その他の包括利益合計	△415	49
四半期包括利益	△2,760	△2,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,784	△2,153
非支配株主に係る四半期包括利益	23	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,355	△3,077
減価償却費	670	446
のれん償却額	68	70
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△95	△122
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△72	△113
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△121	5
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	△19	78
受取利息及び受取配当金	△157	△132
支払利息	108	99
為替差損益(△は益)	△271	150
固定資産処分損	4	6
売上債権の増減額(△は増加)	38,009	41,208
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,468	△8,216
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,089	△15,742
前受金の増減額(△は減少)	6,720	3,599
その他	△609	△670
小計	14,317	17,589
利息及び配当金の受取額	157	132
利息の支払額	△106	△101
法人税等の支払額	△1,842	△2,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,525	15,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	34	23
有形固定資産の取得による支出	△362	△652
無形固定資産の取得による支出	△116	△116
投資有価証券の取得による支出	△55	△90
新規連結子会社の取得による支出	—	△430
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	18	17
その他	1	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478	△1,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△143	△192
PFI等プロジェクトファイナンス・ローンの返済による支出	△415	△420
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△751	△803
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,312	△1,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,731	12,742
現金及び現金同等物の期首残高	24,977	27,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,709	40,538

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,863	9,670	29,534	—	29,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,863	9,670	29,534	—	29,534
セグメント損失(△)	△1,753	△1,897	△3,651	—	△3,651

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,404	12,648	34,052	—	34,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,404	12,648	34,052	—	34,052
セグメント損失(△)	△1,302	△1,655	△2,957	—	△2,957

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。